

## チャレンジ！！オープンガバナンス 2021 市民／学生応募用紙

自治体提示の地域課題タイトル（注1）	No.	タイトル	自治体名
	10-5-3	大学生・市民がスクラムを組んで取り組む「ラグビータウン熊谷」の活性化支援	熊谷市
チームがつけたアイデア名（注2）（公開）	まちなかラグビーで暑い熊谷化		

（注1）地域課題タイトルは、COG2021 サイトの中に記載してある応募自治体提示の地域課題タイトルを記入してください。

（注2）アイデア名は各チームで独自にアイデアにふさわしい名前を付けてください。

### 1. 応募者情報 赤字部分は削除して該当の番号を記入

チーム名（公開）	まちなかラグビー		
チーム属性（公開）	1. 市民、2. 市民／学生混成、3. 学生	2	
メンバー数（公開）	5名		
代表者（公開）	小倉史也		
メンバー（公開）	太田一穂	後藤真太郎	臼杵健 新井孝一

#### 【注意書き】※ 必ず応募前にお読みください。

<応募の際のファイル名と送付先>

- 応募の際は、ファイル名を COG2021\_応募用紙\_具体的チーム名\_該当自治体名にして、以下まで送付してください。東京大学公共政策大学院の COG2021 サイトにある応募受付欄からもアクセスできます。admin\_cog2021@pp.u-tokyo.ac.jp

<応募内容の公開>

- アイデア名、チーム名、チーム属性、チームメンバー数、代表者と公開に同意したメンバー氏名、「アイデアの説明」は公開されます。
- 公開条件について：  
「アイデアの説明」でご記入いただく内容は、クリエイティブ・コモンズの CC BY（表示）4.0 国際ライセンスで、公開します。ただし、申請者からの要請がある場合には、CC BY-NC（表示—非営利）4.0 国際ライセンスで公開しますので、申請の際にその旨をお知らせください。いずれの場合もクレジットの付与対象は応募したチームの名称とします。  
(具体的なライセンスの条件につきましては、<https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/legalcode.ja>、および、<https://creativecommons.org/licenses/by-nc/4.0/legalcode.ja> をご参照ください。また、クリエイティブ・コモンズの解説もあります。<https://creativecommons.jp/licenses/>)
- 上記の公開は、内容を確認した上で行います。（例えば公序良俗に違反するもの、剽窃があるものなどは公開いたしません）
- この応募内容のうち、「自治体との連携」は、非公開です。ただし、内容に優れ今後の参考になりうると判断したものは、公開審査後アドバイスの段階で相談の上公開することがあります。

<知的所有権等の取扱い>

- 「アイデアの説明」中に、応募したチームで作成・撮影したものではない文章、写真、図画等を使用する場合、その知的所有権を侵害していないことを確認してください。具体的には、法令に従った引用をするか、知的所有権者の許諾を取得し、その旨を注として記載してください。「自治体との連携」中も同様をお願いします。
- 「アイデアの説明」中に、人が写りこんでいる写真を使用している場合、使用している写真に写りこんでいる人の肖像権またはプライバシーを侵害していないことを確認してください。

<チームメンバー名簿>

チームメンバーに関する情報を最終ページに記載して提出してください。（2. の扱いによる代表者氏名を除き、他のメンバーに関する情報は本人の同意があるものを除き COG 事務局からは非公開です。詳細は最終ページをご覧ください。）

**アイデアの説明全体が肖像権・著作権等を侵害していないことの確認**

○

**(1) アイデアの内容、(2) アイデアの理由、(3) 実現までの流れ、の三項目に分けて記入してください。**

必要に応じて図表を入れていただいても結構です。

## 2. アイデアの説明（公開）

### (1) アイデアの内容（公開）

#### (1) アイデアの内容（公開）

アイデアは、対象とする課題解決のために、何をする社会的な活動（サービス）なのか、をわかりやすく示してください。これが将来実現した場合、魅力的で新規性があり、実践したくなり、活用してみたいなる、そしてその結果として、課題が解決される、そんなわくわく感のあるアイデアを期待します。2ページ以内でご記入ください。

<応募チームとして解決したい課題の要点はこれ！をごく短く書いてください>

ラグビータウンを盛り上げるためにチームと大学生/市民とが協働して、地域活力を高め合い、ラグビーロードを賑やかにする。

<この課題解決のために「何を」するアイデアか、それを「誰が」「いつ」「どこで」「どのように」するかをわかりやすく書いていきます> <アイデアが具体的に実行される場面を想定してください。>

<よいアイデアを生むには関連データの分析確認とデザイン思考によるアイデアを使う人への共感が必要です>

ラグビーロードでラグビーに関係したゲーム（以下ラグビーゲームと呼ぶ）をしてラグビーロードやラグビータウンである熊谷市を盛り上げることが目的とする。これに付随して、熱中症防止のために My タンブラー（OGC2021 で提案中）に CoolShare 協力店で冷たい麦茶を補充したり、市民が自作した My 温度計（RasberyPi で別途ワークショップで製作）を設置して温度計測を行い、GIS で CityGML 上に温度表示して熱中症防止を啓蒙したりする活動を平時的草取りやゴミ掃除の時にも行い、ラグビーロードの活動を周知する。こうした活動は毎年 9 月上旬に開催されるラグビー祭り（これまでに 26 回開催実績はあるものの、ラグビー場でのみ行われ、一般市民の関心を喚起する仕組みはなかった）と協働して行う事で、ラグビーに関心がある一般市民を増やし、市民でスポーツタウン熊谷を盛り上げる起爆剤としていく。

<市民の意見>

熊谷市総合政策部企画課が「第 2 次熊谷市総合振興計画」（平成 30 年 3 月策定）の中で設定した、「成果指標」を把握するために行っている「まちづくり市民アンケート」（令和 3 年 2 月実施）では、「熊谷の宝として全国に発信できるものはありますか。」の問いに対して、「ラグビー・ラグビータウン・ラグビー大会」、「熊谷スポーツ文化公園（ラグビー場・熊谷ドーム）」と具体的なラグビー関連の回答があった割合は、19.4%と昨年度の 26.8%より約 7%下がっている（回答率の母数は、その質問項目に該当する回答者の数とする。百分率は小数点第 2 位を四捨五入し、小数点第 1 位まで表示する。この問いに対する令和 2 年度の回答者数：614、昨年度の回答者数：549）。

一方で「うちわ祭り・祭り」と回答した割合は、前年度の 14.8%から約 2%下がった 12.9%とほぼ横ばいではあるが祭り関係は受け入れられていることが分かった。この問いは記述回答であったが、熊谷の中でもラグビー関連の回答は 3,4 位、祭りについては 2 位と人気であると読み取れる。

（令和 2 年度回収数・率：1,125 通、回収率 37.5%、令和元年度：1,000 通、33.3%）

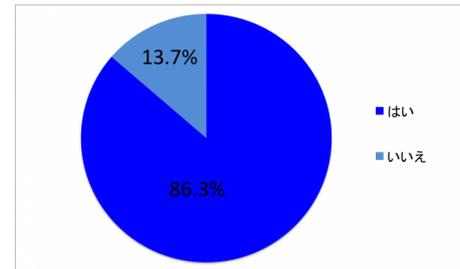
<外遊びの減少>

子供向けスポーツ・アウトドイベント「アクティブキッズフェスタ」を主催する一般社団法人 YBP PROJECT が、子供の「外遊び」と「スポーツ」に関しての実態を明らかにするため実施した主に幼児から小学生の子供がいる保護者対象のアンケート調査によると、「あなたが幼児期から小学生の時と比べ、子供の「外遊び」の機会が減少したと感じますか」の問いに対して 86.3%の保護者が「はい」と回答している。

## 2. アイデアの説明（公開）

### (1) アイデアの内容（公開）

減少した理由については、「テレビゲームなど室内玩具などで遊ぶ機会が増えた」、「習い事にいく機会が増えた」、「区画整理によって近所の道ばたなど遊ぶ場所が減った」、「その他公園のルールが厳しい」など屋内のテレビゲームの普及のほかに近所の道端などの遊ぶ場所が失われていること、公園での禁止事項の増加が挙げられている。（参考：日刊工業新聞,2018,【子供の「外遊び」と「スポーツ」の取り組み】に関する、保護者を対象としたアンケート調査,  
<https://www.nikkan.co.jp/releases/view/75101>）

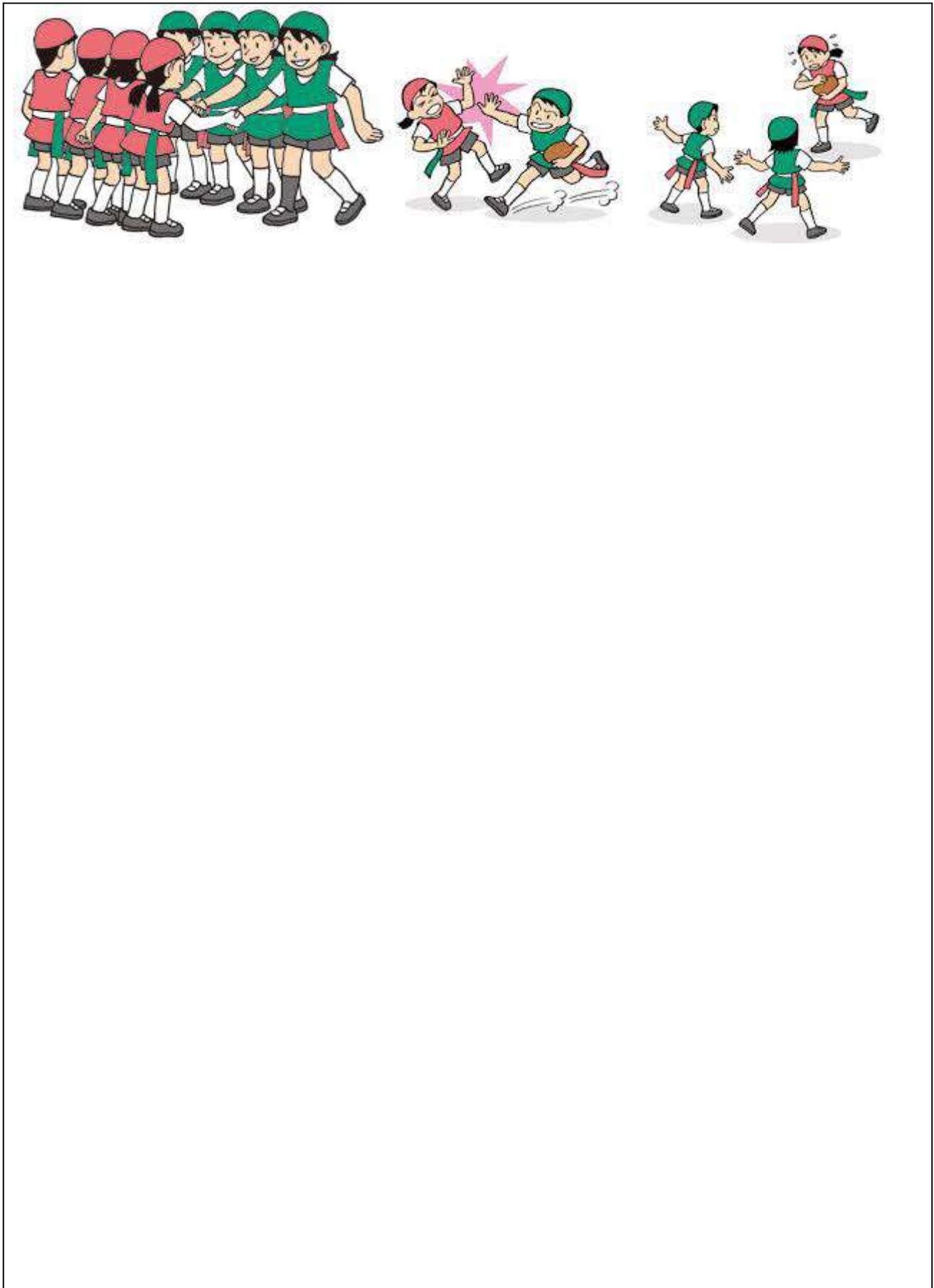


上記のことから、ラグビータウンである熊谷にてラグビーを身近に感じて、市民の皆さんに外で遊ぶきっかけやラグビーやラグビー観戦に興味をもってもらうことが課題である。そのため、子どもが理解できる簡単なルールのラグビーゲームをラグビーの選手たちとまちなかで実施することを提案する。

ラグビー祭りの日（九月上旬）の際にラグビーゲーム 1,2 を実施する。

#### <ラグビーゲーム概要>

1. ゴールを熊谷駅と熊谷スポーツ文化公園に設置して、ラグビーロードで一部交通規制を行い、参加者を2チームに分けてラグビーボールを催した大玉をどちらがゴールまで運ぶのが早いかを競い合う。ラグビーボールを催した大玉にはGPSを付けてお互いの位置が分かる状態にして、相手チームが直接見えなくても沿道の人たちがスマホでお互いの大玉の位置を確認し声援を送ることで競争の見える化を楽しむことができる。
2. 設置されたゴールに時間内にラグビーボールを運ぶことをルールの軸にして女子ラグビーチームアルカス熊谷の選手たちと学生でルールを作りあげる。ラグビーロードで参加者を少人数のチームに分けて事前に作ったルールで開催する。
  1. で使用したGPSを選手やボールに付けてリアルタイムでゴールまでの距離やどこにいるかが確認できて沿道の観客も楽しめるようにする。



## 2. アイデアの説明（公開）

## (2) アイデアの理由（公開）

### (2) アイデアの理由（公開）

このアイデアを提案する理由（なぜ）について、それをサポートするデータを根拠として示しつつ 2 ページ以内で説明してください。ここではアイデアの必要性、効果を確認します。データとは、統計類などの数値データやアンケート・インタビュー・経験の記述、関連の計画、既存の施策などの定性データも広く含みます。データは出所を明らかにしてください。

<このアイデアを提案する理由（なぜ）を書いていきます>

<先の（1）で書いた「何を」「誰が」「いつ」「どこで」「どのように」というアイデアの内容を支えるための、「なぜ」このアイデアがいいのか実現したいのかを上記のデータを示しつつ書いていきます>

<アイデアの発想>

まちなかでボールを使ったラグビーの原点である鬼ごっこの対抗戦を広めようと考えたのが発想の始まりである。次に、自分達で自分達のためのルールをつくる共創プログラムによるルール作り、ラグビーのルールを簡易化したタグラグビーをまちなかで行いたいと考えた。

先行事例として、「まちおに」があり実施されているが、熊谷のタグラグビーの普及熱は高く、他地域に比べレベルが高いと言われている。このことから、タグラグビーのルールを簡素化し、まちなかですることができるゲームを鬼ごっこを参考にし、毎年ルールを検討するプロセスを通じ、共創して事業を行う楽しさを共有する仕組みを考えた。

また、「まちおに」のルール作りからする場合は遊ぶ機会と別に意見をまとめて形にする機会が必要になり時間がかかるので、参加がしにくく遊ぶまでに体力を使ってしまうので 1 日でルールを作り、遊ぶことまでするのは困難であると感じた。

最終的に、ラグビーロードのような人目につく場所でラグビーに関係したゲームをするなら、一目でルールがわかり参加しやすいものが良いと判断した。

--

### (3) アイデア実現までの流れ（公開）

アイデアを**実現する主体**、アイデアの**実現に必要な資源（ヒト、モノ、カネ）**の大まかな規模とその現実的な調達方法、アイデアの**実現にいたる時間軸を含むプロセス**、実現の制度的制約がある場合にはその解決策等、**アイデア実現までの大まかな流れ**について、**2 ページ以内**でご記入ください。ここでは実現可能性を確認します。

<アイデアに即した実現に向けての具体的な活動を上記のポイントに即して工夫して書いていきまず>

<以下のように分けて書いていきます>

1. **実現する主体**
2. **実現に必要な資源（ヒト、モノ、カネ）**の大まかな規模とその現実的な調達方法
3. **実現にいたる時間軸を含むプロセス**

<実現する主体>

- ・周辺の市民、学生、女子ラグビーチームアルカス熊谷の選手
- ・熊谷を盛り上げて、ラグビーと町の参加者の選手たちやラグビー関係者にとってはラグビーを広めて興味を持ってもらい試合にも来てもらうこと。
- ・学生や周辺の市民にとっては実際に選手に会えることや、ルールと一緒に造り上げていくことがモチベーションになる。

<実現に必要な資源の大体の規模>

ヒト：

- ・参加する市民（50 人ほど）
- ・アルカス熊谷\*の選手（4,5 人）  
\* 埼玉県熊谷市を拠点とした、7 人制女子ラグビーのクラブチームであり、リオ、東京オリンピックに選手を出している。選手は立正大学学生が主となっている。
- ・学生（20 人以上）
- ・沿道からの観客
- ・道路規制付近の交通誘導をする警備員（5,6 人）

モノ：

- ・立正大学と連携予定であるためラグビーボール、道路の規制に必要なカラーコーン、告知用の立て看板、エアアーチ、サイトの作成などの新たなモノ・カネの調達は不要である。
- ・ラグビーボールのような楕円の短半径が 35cm の大玉は 3 日間のレンタルか、より大きいものが良いとなれば、運動会で使用されるような大玉を改造してラグビーボールの形にすることが考えられる。
- ・道路は、事前に市役所や国道事務所と相談して場所を決めた上で熊谷市に道路占有許可申請を行う。
- ・広告・印刷費としてなど 10,000 円程度を想定。

カネ：

- ・大型ラグビーボールレンタルは 3 日間で約 1.5 万円だが、より大きいものが良いとなれば運動会で

使用されるような大玉を改造するための費用が必要である。

- ・道路使用許可申請の際には、埼玉県証紙で納付する費用が 2,500 円と決まっている。
- ・チラシの価格は 50 枚約 35 円で立て看板、チラシ印刷代は約 1 万円と見込む。
- ・警備費用は 3 時間 5,6 人で約 7 万円ほどであるが時期によって値段が変動する。また、実際に使用する道路の距離によって人数を調整することが必要である。しかしながら、警備要員は、立正大学もラグビー部メンバーのボランティア参加を予定している。

#### <資金の調達方法>

・熊谷にはうちわ祭りが毎年行われ、3 日間で 75 万人の集客力がある。このまつりは祇園系の祭りであり、市民が主体となって運営され、関係機関からの寄付金で運営されており、立正大学が支援している山車の上に GPS を搭載し Web-GIS で表示するシステムを市民と協働運営して 14 年を経ており、このシステムの運営のために寄付金以外に、プロバイダーの提供や PV のための大型ディスプレイの提供などこれまでにない機関の協力が得られるようかしくみ作りを行っている。本事業の運営にも同様の考え方を適用する予定である。

・Web サイトの作成については大学との連携を考えているので、新たなヒト・モノ・カネは不要である。

・このアイデアは前述のようにラグビーロードやラグビータウンである熊谷市を盛り上げることが目的なので、熊谷市が行っている「地域社会に貢献する活動を始めたい」「今、行っている公益活動を広げたい」団体を支援する熊谷市民公益活動促進事業に当てはまる。この目的による NPO・ボランティア団体を設立して申請することで、スタート助成金（10 万円以内）の交付も見込んでいる。

#### <実現に至る時間軸を含むプロセス>

本事業の企画に当たり、熊谷市産業振興部、ラグビー祭り主催者（一般社団法人熊谷市ラグビーフットボール協会、同ラグフェス委員会）と調整を行っており、コロナ禍の影響がなければ令和 4 年度に開催する予定である。

4～5 月から準備を始めて、9 月上旬にあるラグビー祭りに開催する。

4 月 アルカスの選手と学生でルール作り。熊谷市役所の管理課、大宮国道事務所熊谷国道出張所、熊谷県土整備事務所と相談してラグビーロードの中で使用する道路の場所、距離を決定。

5 月 アルカス熊谷の選手と学生でルール作り、大玉のレンタル or ラグビーボールの作成

## 2. アイデアの説明（公開）

## (2) アイデアの理由（公開）

6月 告知用チラシ、立て看板の作成、大玉のレンタル or ラグビーボールの作成

7月 告知用のチラシの設置

8月 アルカス熊谷の選手と学生でルール作り、必要資源モノの最終調達、告知用の立て看板の設置、

最終リハーサル

9月 ラグビー祭り当日